

## グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業（EXPERT-J） 令和 8 年度公募における採択大学の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業（EXPERT-J）」令和 8 年度公募において 3 校の採択を決定しました（別紙 1）。

本事業は、国際頭脳循環の推進に向け、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局が 2025 年 6 月 13 日に取りまとめた“J-RISE Initiative”の実現に向けた緊急的取り組みとして、大学ファンドの運用益を活用し実施するものです。海外機関で活躍する優秀な若手研究者を、世界水準の処遇で日本のトップレベルの大学に招へいまたは受け入れ、日本の研究力の強化を図ります。

本事業は、2025 年 7 月に 1 回目の募集を行い、11 校の大学を採択しましたが、日本の研究力をさらに強化するため、2026 年 1 月から 2 回目となる令和 8 年度公募を実施しました。今回の募集では 3 校から応募があり、外部専門家で構成された委員会（別紙 2）による審査を経て、3 校の採択を決定しました。

なお、本事業は国際卓越研究大学以外の大学を対象としているため、本事業の採択大学が新たに国際卓越研究大学に認定された場合、当該採択大学における国際卓越研究大学の体制強化計画の開始日以降の期間については、本事業での支援を中止します。

事業の詳細については、以下のウェブページを参照してください。

- ・事業の概要（JST ウェブサイトより）

URL : <https://www.jst.go.jp/jisedai/expert-j/>

- ・グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業（文部科学省ウェブサイトより）

URL : [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/kokusai/houdou/1278386\\_00004.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/houdou/1278386_00004.htm)

### <添付資料>

別紙 1 : グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業 令和 8 年度採択大学・事業統括一覧

別紙 2 : 令和 8 年度公募選考体制（グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業推進委員会）

別紙 3 : グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業における募集の概要

### <お問い合わせ>

#### <事業に関すること>

科学技術振興機構 助成事業推進部

〒102-0081 東京都千代田区四番町 4 番地 2 BAN ビル 4 階

齋藤 仁夫（サイトウ キミオ）、西村 佑介（ニシムラ ユウスケ）

E-mail : [expert-j-application@jst.go.jp](mailto:expert-j-application@jst.go.jp) ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

#### <報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : [jstkoho@jst.go.jp](mailto:jstkoho@jst.go.jp)

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

## グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業 令和 8 年度採択大学・事業統括一覧

(大学名五十音順、敬称略)

大学名	事業統括	構想の題目
大阪大学	田中 敏宏	産業／社会変革を先導し社会課題解決を志向する卓越研究者招へい構想
岡山大学	窪木 拓男	医療系キャンパス・未来医療創発研究所を中心とした高度国際頭脳循環・研究特区構想
熊本大学	富澤 一仁	国際若手研究者の育成・定着による研究強化事業

## 令和 8 年度公募選考体制（グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業推進委員会）

（委員は五十音順、敬称略、2026 年 3 月現在）

役割	氏名	所属・役職
委員長	宮園 浩平	内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員（常勤）
委員	青木 孝文	東北大学 理事・副学長（企画戦略総括）・プロボスト・CDO
委員	日比谷 潤子	国際基督教大学 名誉教授
委員	宝野 和博	物質・材料研究機構 理事長
委員	安浦 寛人	情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長

## グローバル卓越人材招へい研究大学強化学業における募集の概要

### 1. 事業の趣旨

本事業は、日本における国際頭脳循環の強化に向けて、海外機関で活躍する日本人をはじめとした優秀な若手海外研究者を世界水準の処遇で国際卓越研究大学に準ずる日本トップレベルの大学に受け入れ、日本の研究力の強化を図るため、次の2点を推進します。

- (1) 海外機関に所属する、日本人研究者をはじめとした優秀な若手研究者（着任予定日時点で45歳未満。PI (Principal Investigator、研究代表者)、博士研究員、博士後期課程学生を含む)により構成されるチーム・個人に対し、世界水準の処遇、研究環境を提供し、研究力向上に向け、日本への定着を目指すこと
- (2) 日本の大学が、自ら強みを有し戦略的に強化を図る分野において、優秀な若手海外研究者を海外から受け入れることで、当該分野において世界と伍する研究水準を有する研究大学の実現を図ること

なお、本事業は国際頭脳循環の推進に向け、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局が2025年6月13日に取りまとめた“J-RISE Initiative”の実現に向けた緊急的取り組みとして、大学ファンドの運用益を活用して実施するものです。

### 2. 事業の概要

本事業では、海外から日本人研究者をはじめとした優秀な若手研究者・博士後期課程学生を受け入れ、活躍させるための具体的計画を有する、日本トップレベルの大学を公募で選定し、支援を実施します。

具体的には、海外若手研究者の招へい・受け入れに当たり、大学が世界水準を基に給与・博士後期課程学生に対する研究奨励費、海外若手研究者に対する研究費を設定し、招へい・受け入れの取り組みを実施します。加えて、支援終了後の海外若手研究者の大学への定着に向け、研究プロジェクトを主導するPIとなる海外若手研究者に対し、原則としてテニュアもしくはテニュアポストを明示したテニュア・トラックとし、支援終了後大学において雇用を自走化するなどの取り組みを行います。また、受け入れ後の研究室のセットアップや、海外若手研究者が研究に専念できるようにするための研究環境整備などの取り組みを大学において実施します。

なお、受け入れ対象とする優秀な海外若手研究者は、原則として、日本において戦略的な国際連携を推進しているG7などの先進国、一部のグローバルサウスの研究機関に所属している者を対象とします。また、重要技術分野に関係する海外若手研究者を受け入れる場合は、大学において研究セキュリティ確保に向けた取り組みを実施します。

### 3. 募集の概要

- (1) 募集期間  
2026年1月16日(金)～2月16日(月) 正午
- (2) 支援実施期間  
2026年4月～2028年9月(2年6カ月間)
- (3) 支援額  
各大学による提案を基に、「グローバル卓越人材招へい研究大学強化学業推進委員会」において評価し決定
- (4) 応募者の要件  
募集開始時点で文部科学省より国際卓越研究大学の認可・認定を受けていない国公立大学および、これまでに本事業による支援を受けていない国公立大学

以上